



2023年 9月29日  
第44号

# JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実  
編集情宣担当  
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申  
第1号

## 「JR東労組横浜地本第28回定期大会」発言に基づく申し入れ 団体交渉を行う！ その④

6. 横浜駅、鎌倉駅において、ホーム立ち番廃止により、ドア挟まりの増加と転落発生時の対応の迅速さが失われていることから、多客が見込まれる時間帯はホームに要員を配置すること。また、ITVの設置によりホーム立ち番の配置と同等以上の安全性が確保できる根拠を示すこと。

【会社回答】お客さまのご利用状況によりホーム係員を配置するなど、ホーム上の安全確認及びお客さまの動向に注意している。また、ITVの整備によりホーム上の視認性を確保している。

組合	会社
ITVの設置によって安全性が確保できる根拠は何か。	ITVが整備され、ホーム全体、お客さまの乗降が確認できる状態になり、安全の担保が確保された。よってホーム要員の配置を見直した。
視認性と安全性は別の認識である。安全安定輸送のためにはホーム要員が必要。1人の目よりも2人の目で安全を確保するべきだ。	主張は承る。 <u>効率的な業務体制の執行を構築していくことは引き続き会社として責任をもってやっていく。</u>
施策によって乗降終了合図を省略したが、今後ご利用状況によっては元に戻すという判断はあるのか。	お客さまのご利用状況を鑑みて戻すという判断はあるかもしれないが、このまま行くという判断もある。
(ホーム立ち番の配置について)お客さまのご利用状況の基準はあるのか。	基準はない。ITVで乗降が確認できれば基本は立ち番の見直しをしていく。そうはいてもご利用状況を見ながら必要な時には配置していく。
ITVの設置時の立会いは誰が行っているのか。	ITVを設置して画面で追えるかの視点で支社が確認している。その後関係する現場の管理者や指導員に来てもらって確認している。
そこに課題がある。「4画面に収まるのか」と、そこから入るから一番重要な所が画面の切れ目になるケースがある。実際に乗務している人の声でないと、なかなか乗らない指導員の方だとわからない部分もある。設置前に反映できないのか。	なかなか難しい。色んな社員の話を聞いて、どれがいいんだとまとまらなくなってしまう。指導員の方々に見ていただいて、現地で調整することが必要だ。「ここが見えにくい」という意見があれば、職場で話してもらい画角調整はできる。
横浜駅では7月に酔客が触車し救急搬送された。立ち番が居れば防げた事象と分会から報告されている。人を置かなければならないところには、置かなければならない。	ホーム要員が立っている場所は少ない。 <u>お客さまが転落したなどは周りのお客さまに見てもらって、列停があれば押しもらう。色んなケースがある。社員がいるから安全が確保できると言えばそうではない。列停などの周知を引き続き行っていく。</u>
今、利用客は戻ってきているというところから始める必要がある。多客が見込まれる時間帯や警戒すべき時間帯はホームに駅社員を配置することがベストだ。	必要な時間に放送をするなど、必要な対応は行っている。
社員がいるから安全ではないと言うが、 <u>視認性=安全ではない。効率的な業務体制の執行を求めるのは理解するが、考え方を安全側に振っていくべきだ。</u> 多客時にはホームの立ち番を求めていく。	ご意見として承る。

7. 要員不足と出面数の減により、改札窓口を閉めなければ車イス対応や遠隔システムの対応ができない。休憩時間の確保と休養が取れ、かつスムーズなお客さま対応ができる要員配置を行うこと。

【会社回答】お客さまのご利用状況等に応じて対応することとなる。

組合	会社
会社に要員不足の認識はあるか。	必要な要員は確保し配置している。
現実として「改札窓口を閉めないと車イス対応ができない」とか「遠隔で呼び出された先の改札の対応ができない」といったことが日々発生している。そのような認識はあるか。	お客さまの輻輳が発生している認識はある。箇所総体で対応しているが、なかなか工面できず、窓口を閉めて対応している認識である。 <u>頻繁に起こることではない。</u>
社員が休憩時間であっても対応しなければという気持ちで控えている現状がある。	休憩中の社員が対応することはある。超勤についてはしっかりつけていただく。休憩時間の配置変更ができるならば管理者と話をしてしっかり休憩していただくのが基本である。
社員の良心に依って運営するのか。	良心に訴えて行っていることではない。
現場感覚では「人が足りない」となっているが、なぜそのように感じるのか。	様々な職種を社員が担っており、 <u>箇所総体で職場運営</u> をしていく中では必要な要員は配置している。
その差異はいずれ解消されるのか。	引き続き対応していく。
出面数・作業ダイヤ数も現場に合ったものになっている認識か。	その通りだ。

**安全・サービス<効率的な業務執行体制で良いのか! ? その⑤につづく**